

2024-7-17

遺伝子組換え白花オンシジウム (洋ラン)の 隔離ほ場試験を再開しました

2024年7月より、新たに白花組換えオンシジウム (PSYi ; Oncidesa Gower Ramsey) ('Honey Snow', MF-1)及びその元となった非組換えオンシジウム各11鉢を用いた試験を開始しました。今年度の栽培は、隔離ほ場内に設置したビニールハウス内で直射日光を避け、適切な灌水管理のもと、日本国内での通常の洋ラン栽培を模して行います。試験栽培の目的は、昨年度と同様に、当地の自然環境下で、生きて夏を越せないことを確認することと、組換え体と非組換え体の中で生物多様性影響に差がないことを確認することです。



図1 隔離ほ場試験の様子

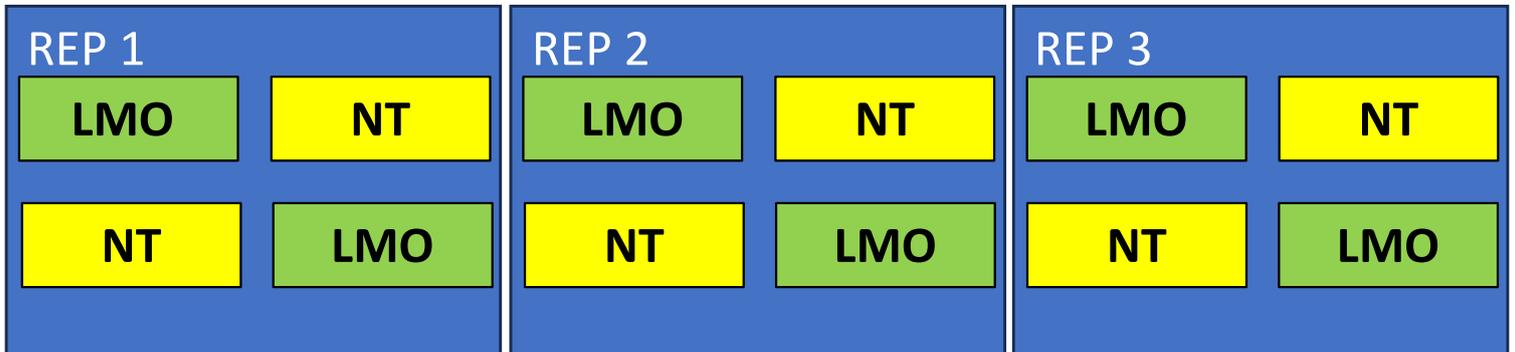


図2 配置図